

東京会場

お申し込みは、
「ご希望の会場名」「氏名」「人数」「ご連絡先」を明記し、
びわ湖長浜KANNON HOUSE
info@nagahama-kannon-house.jp
03-6806-0103へ

Hoshi to Matsuri Reissue Project

共催
びわ湖長浜KANNON HOUSE

『星と祭』勧進イベント@ここ滋賀

5月11日(土) 15:00 (16:30 終了予定)

会場:ここ滋賀

(東京都中央区日本橋2丁目7-1)

定員20名 ※要申し込み

『星と祭』勧進イベント@KANNON HOUSE

5月12日(日) 11:00 (12:00 終了予定)

会場:びわ湖長浜KANNON HOUSE

(東京都台東区上野2丁目14-27)

申込不要。ただし、席に限りがあります。

第8回長浜歴史文化講座

『星と祭』勧進イベント@浅草文化観光センター

5月12日(日) 14:00 (16:30 終了予定)

会場:浅草文化観光センター

(東京都台東区雷門2丁目18-9)

定員60名 ※要申し込み



『星と祭』

井上靖
復刊プロジェクト

関連イベント

『星と祭』より観音さまが登場するシーンの朗読。
観音ガールによる観音さま解説講演。
物語の世界を共にめぐりませんか。

第2回

医王寺と『星と祭』【拝観料 300円】

4月20日(土) 14:00 (13:30開場)

会場:医王寺 (長浜市木之本町大見)

第3回

石道寺と『星と祭』【拝観料 300円】

5月18日(土) 14:00 (13:30開場)

会場:石道寺 (長浜市木之本町石道 419)

第4回

赤後寺と『星と祭』【拝観料 300円】

6月15日(土) 14:00 (13:30開場)

会場:赤後寺 (長浜市高月町唐川1055)

入場無料

申し込み不要

※朗読・講演後に観音堂を団体拝観いたします。
別途拝観料が掛かります。

お問い合わせ

久保寺 TEL.090-6900-4512

『星と祭』復刊プロジェクト実行委員会

『星と祭』 Hoshi to Matsuri
復刊プロジェクト実行委員会
Reissue Project Executive Committee Member



【星と祭にっつって】

井上靖の『星と祭』は琵琶湖で娘を亡くした父親が、滋賀県各地の十一面観音を巡り、次第に心の平安を得るといふ物語です。昭和四十六年五月から一年間、朝日新聞紙上で掲載されたことによつて、渡岸寺の十一面観音立像をはじめとする湖北の観音さまが全国的に注目されるようになりました。

描かれているのは娘の死を弔うまでの父親の心情ですが、それとともにこの地域の信仰のあり様も見事に表現されています。作品発表後、五十年近く経つてはいるものの、観音さまが人びとの暮らしの中に入り込み、素朴で切実な信仰の対象となり、集落の人びとによつて守られている様子は今もほとんど変わりません。『星と祭』は小説という形態をとりながらも、この地域特有の信仰や文化の真髄を私たちに伝えてくれているのです。

井上靖はこの小説の執筆以降、数年にわたり近い人々に観光大使のごとく振る舞い、この地の

観音信仰を紹介したと言われています。そして「観

音さまは修業の身なのだから、秘仏にしないで衆生の悩みを聞いていただくようにしたら

いい」と湖北の人たち

によく話していたとも伝えられています。



▲ 作者：井上 靖氏
(撮影 二村次郎)

【星と祭復刊への思い】

『星と祭』は湖北・長浜と縁のある小説ですが、現在は絶版状態のため、入手困難な状況になっています。そこで、もう一度、この本を湖北に訪れる人たちに届けられないだろうか。そして、この地域のことを、観音さまのことをもっと知っていただくことはできないだろうか。私たちのそんな思いは次第に大きくなり、『星と祭』を復刊したい、自分たちの手で自分たちの町から復刊したいという思いへと変わりました。

こうして生まれたのが『星と祭』復刊プロジェクト実行委員会です。とてもちいさな団体ですが、この町に暮らし、この町のことを愛しているからこそ、お届けできる復刊のかたちがあるのではないかと考えています。

私たちが目指しているのは、観音の里湖北・長浜のことが愛おしくなる、手元に置いて何度も読み直したくなる『星と祭』の復刊です。

来秋、新たな装いの『星と祭』をみなさまのもとにお届けするため、日々努力をいたしております。

ご協力、ご支援のほど、どうぞよろしく願っています。

